

付録 シチズン整理券アプリの設定変更資料

シチズン整理券アプリ Ver.2.5.0 以降

QSG CQS 257 2
2026 年 9 月 1 日



以下では、本製品で良く使用される設定の変更方法を説明します。

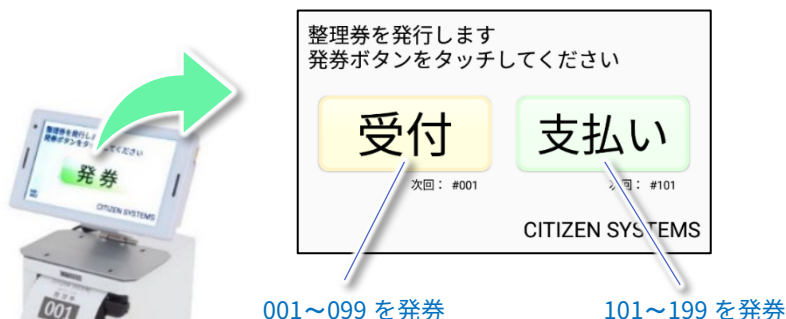
※CQ-S257 と CQ-S257L とで操作方法は共通です。

1. 発券ボタンの数やボタンのデザインの変更

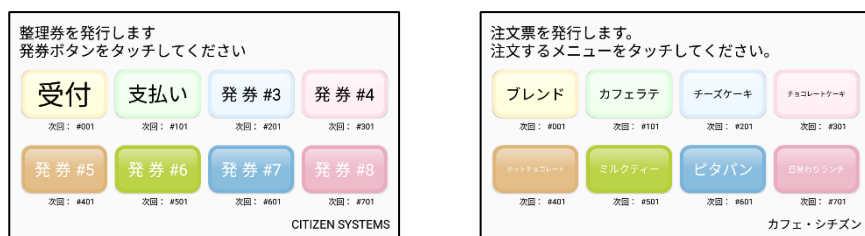
複数の発券ボタンを使用して、例えばボタン 1 は 1～99 の範囲の整理番号を発券し、ボタン 2 は 101～199 の範囲の整理番号を発券するというふうにご使用いただけます。複数の窓口用に別々に整理券を発券する場合などに便利にお使いいただけます。

※ボタンは最大で 8 個まで使用できます。

発券ボタンが 2 個の例



発券ボタンが 8 個の例



※初期設定では「発券ボタン #1」は 001、002、003…、「発券ボタン #2」は 101、102、103…、
～「発券ボタン #8」は 701、702、703…の様に整理番号が発券されます。

1) ボタンの個数を変更します。

「整理券設定」「表示設定」「発券ボタンの数」の順にタップし所望のボタンの個数を選択します。



2) ボタンに表示する文字を設定します。

※以下の操作は発券ボタン#1 について説明していますが、発券ボタン#2~#8 も同様の手順で設定可能です。

「表示設定」「発券ボタン#1 詳細設定」「ボタンのテキスト#1」の順にタップします。



ソフトキーボードから文字を入力し、「OK」をタップします。



3) ボタンの色を設定します。

「ボタンの色#1」をタップします。



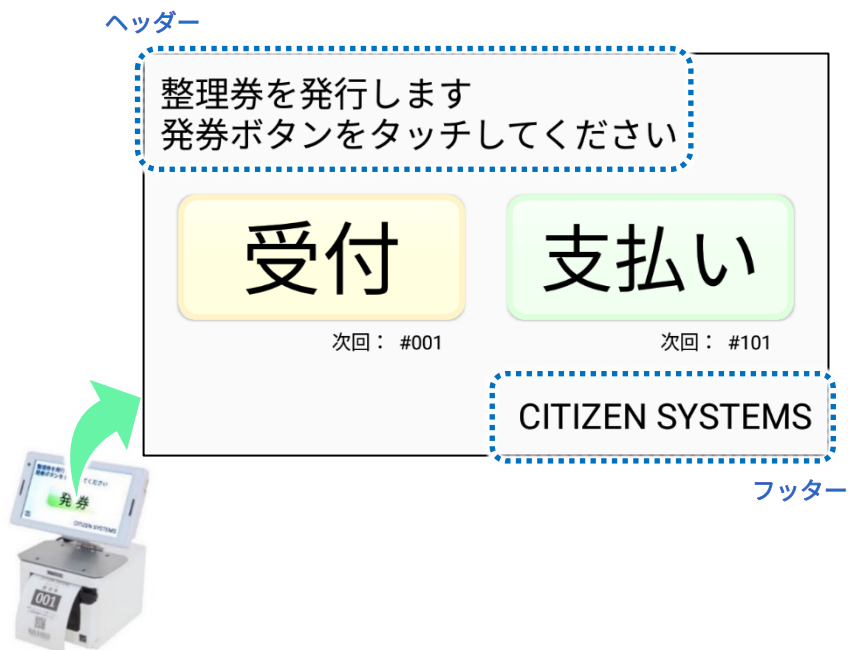
所望の色を選択して、「OK」をタップします。



※上にスライドすると、より多くの色から選べます。

2. 発券画面に表示する文字の変更

整理券発券機の発券画面に表示する文字（ヘッダーとフッター）は自由に変更できます。



1) ヘッダーの文字を変更します。

「整理券設定」、「表示設定」を開き、画面の下の方に移動して「共通」を表示します。

※画面をスライド
して表示します。



ヘッダー（画面上側の文字）をタップして、ソフトキーボードから文字を入力し、「OK」をタップします。



2) フッターも同様に変更できます。



3) 表示変更した際は「プレビューを表示」を押すことで変更後の画面が表示されます。



3. 整理券に印刷する文字の変更

整理券に印刷される文字（ヘッダー、見出し、フッター）は発券ボタン毎に個別に設定できます。

ヘッダー

お店や施設の名前など

見出し

整理券の名前など

フッター

連絡事項など



1) ヘッダーを変更します。

※以下では発券ボタン#1 の設定変更について説明しますが、発券ボタン#2~#7 についても同様の操作で変更できます。

「整理券設定」、「印刷設定」の順でタップします。



発券ボタン#2~#8 の設定を個別に変更する場合は「発券ボタン毎の印刷設定」を ON にします。



※OFF のままの場合、
発券ボタン#1 の設定が
他のボタンの設定にも
使用されます。

「発券ボタン#1」の「詳細設定」を開き、「ヘッダー#1」をタップし、ソフトキーボードから文字を入力し、「OK」をタップします。



2) 見出しやフッターも同様の操作で変更可能です。



4. 整理券に印刷する整理番号のデザインの変更

整理券に印刷される整理番号の文字サイズや書体、白黒反転などの設定を変更できます。

※発券ボタンが複数ある場合でも発券番号のデザインはすべてのボタンで共通となります。

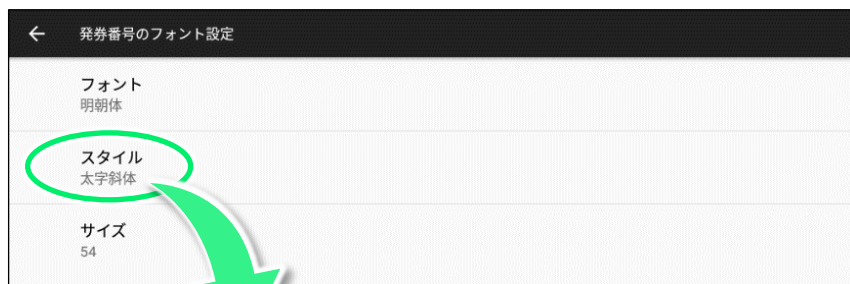


1) フォントを変更します。

「整理券設定」、「番号設定」を開き、「発券番号のフォント設定」タップします。



「スタイル」をタップして所望の書体を選択します。



2) 整理番号のフォントや文字サイズもお好みに合わせて変更可能です



5. 整理券を二枚一組で発券する

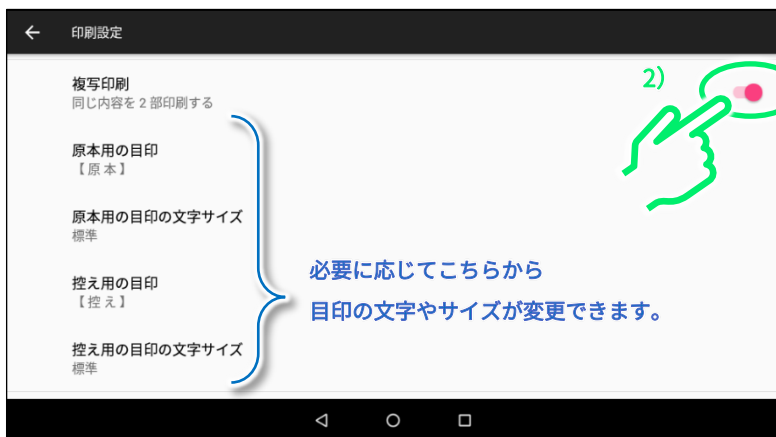
整理券を二枚一組で発券するように設定を変更可能です。一枚を受付保管用に、もう一枚をお客様控用などに使用する場合に便利です。



二枚一組で発券する場合、
整理券に【控え】と【原本】
の目印が印刷されます。

CITIZEN SYSTEMS 2022/9/27 15:01 整理券 001 紛失しないようにご注意ください。 ※ 整理券番号でお呼びします。  スマホで順番を確認できます 【控え】	CITIZEN SYSTEMS 2022/9/27 15:01 整理券 001 ※ 整理券番号でお呼びします。 紛失しないようにご注意ください。  スマホで順番を確認できます 【原本】
---	---

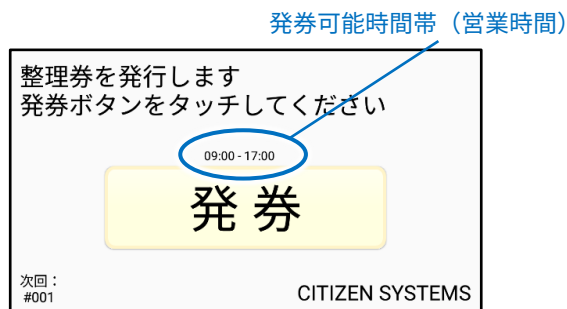
「整理券設定」、「印刷設定」を開き、「複写印刷」を ON にします。



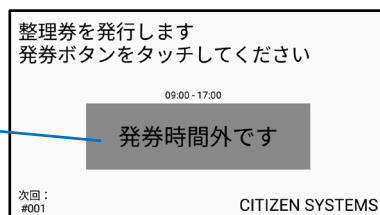
6. 発券ボタンに発券可能時間帯を設定する

発券ボタンに発券可能な時間帯を設定することができます。例えば、施設等の営業時間にあわせて発券可能時間帯を設定したり、午前用の発券ボタンと午後用の発券ボタンの発券可能時間帯を別々に設定したりすることなどができます。

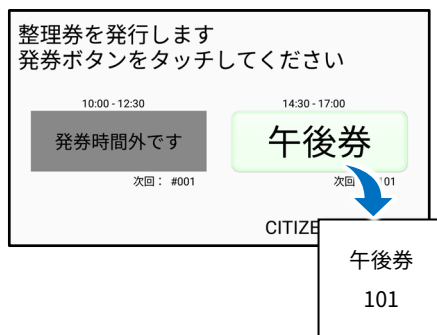
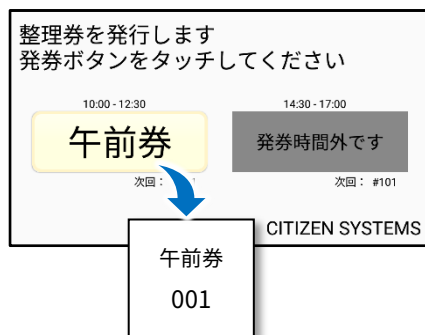
＜営業時間にあわせて発券可能時間帯を設定する例＞



発券時間外は
発券できなくなる



＜午前券と午後券の発券ボタンとで発券可能時間帯を別々にする例＞



※以下の手順は「発券ボタン#1」を設定する例ですが、「発券ボタン#2」～「発券ボタン#8」に関しても同様の手順で設定できます。

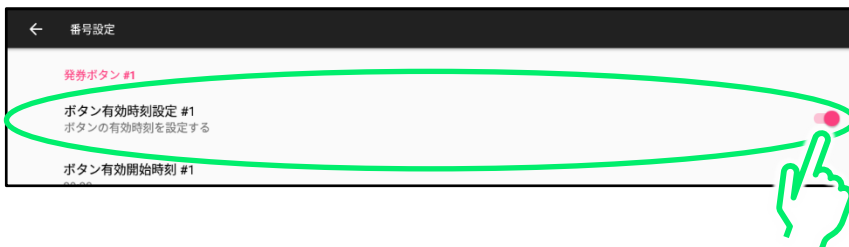
- ① 「整理券設定」をタップし、「番号設定」をタップします。



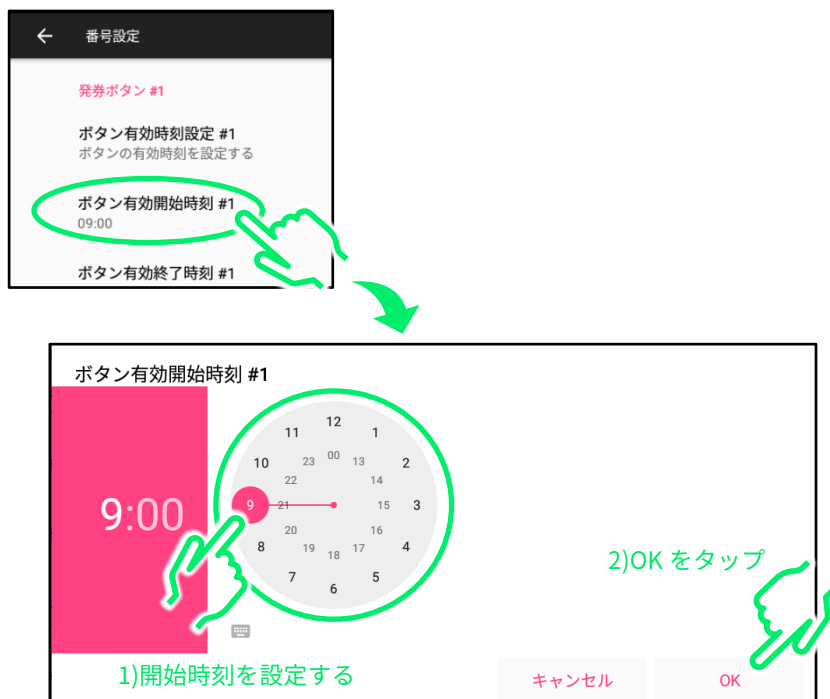
- ② 「発券ボタン#1」の「詳細設定」を開きます。



- ③ 「ボタン有効時刻設定 #1」を有効（ピンク）にします。



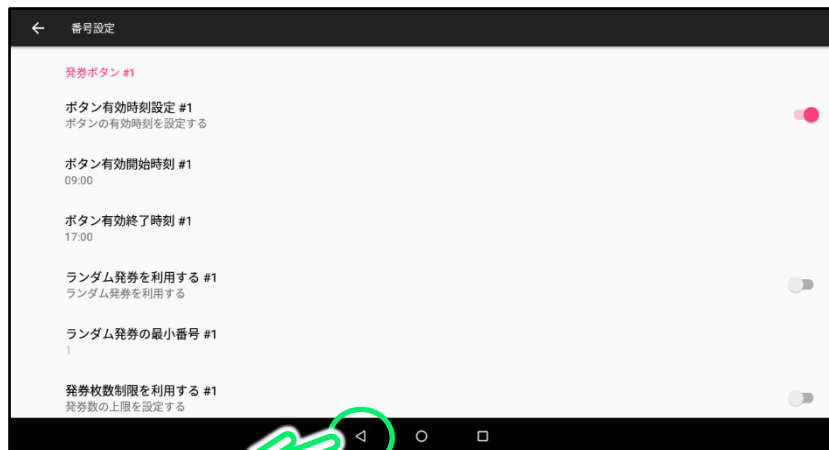
- ④ 「ボタン有効開始時刻 #1」をタップして、発券可能時間帯の開始時刻を設定します。



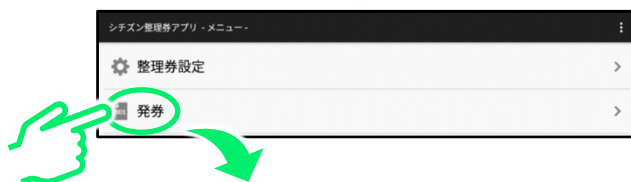
- ⑤ 「ボタン有効終了時刻 #1」をタップして、発券可能時間帯の終了時刻も同様に設定します。



- ⑥ バックボタンを 2 回タップしてから「発券」画面を開き、発券可能時間帯が正しく設定されていることを確認します。



2 回タップ



整理券を発行します
発券ボタンをタッチしてください

11:00 - 16:30

設定した発券可能時間帯

発券

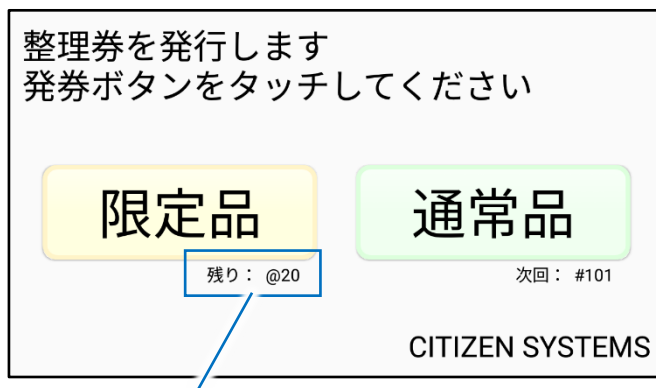
次回：
#001

CITIZEN SYSTEMS

7. 発券ボタンに発券数の上限を設定する

発券ボタンに発券数の上限を設定することができます。例えば 20 人限定などあらかじめ発券する枚数が限られている場合に便利です。

＜左側の発券ボタンに上限を設定した例＞



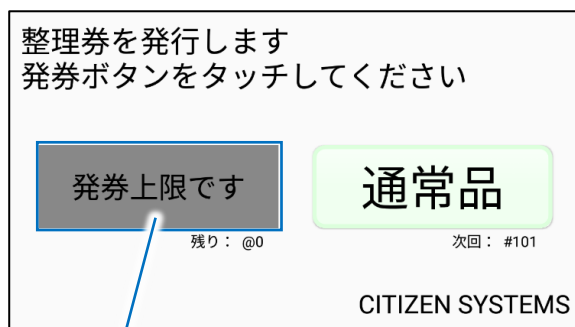
上限を設定した場合の発券残数が表示される

発券するたびに残数が次のように減っていき、

➡ 残り： @19 ➡ 残り： @18 …

残数が 0 になると、発券できなくなります。

※残数が 0 になった場合は、発券番号が自動的にクリアされるまで待つか、手動設定で次回の発券番号を 1 などに戻すと、再度発券できるようになります。



残数が 0 になると発券できなくなる

※以下の手順は「発券ボタン#1」を設定する例ですが、「発券ボタン#2」～「発券ボタン#8」に関しても同様の手順で設定できます。

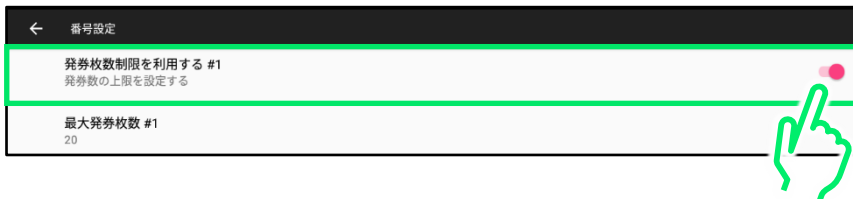
- ① 「整理券設定」をタップし、「番号設定」をタップします。



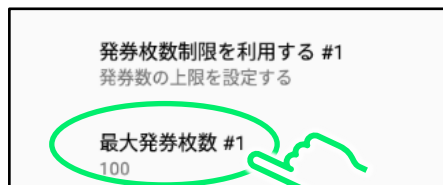
- ② 「発券ボタン#1」の「詳細設定」を開きます。



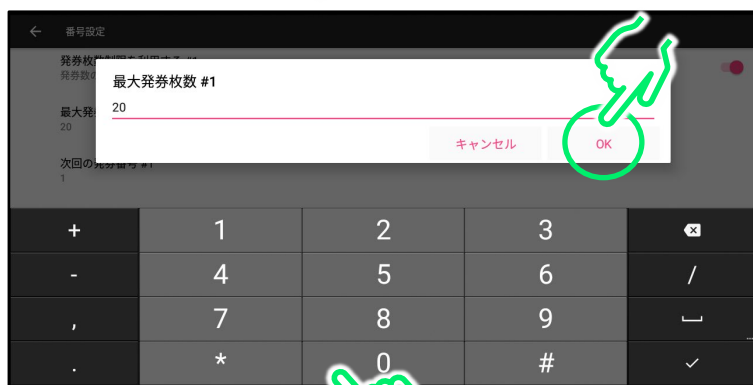
- ③ 「発券枚数制限を利用する #1」を有効（ピンク）にします。



- ④ つぎに「最大発券枚数#1」をタップして、上限を入力します。入力が終わりましたら「OK」をタップします。

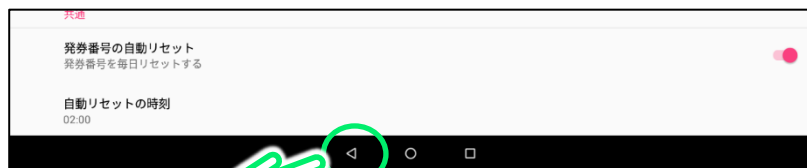


2) OK をタップ

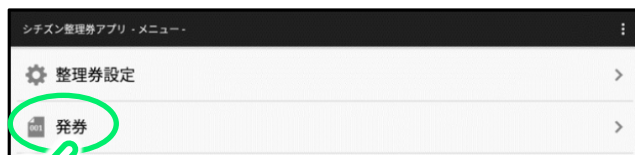


1) 上限を入力

- ⑤ バックボタンを 2 回タップしてから「発券」画面を開き、発券数の上限が正しく設定されていることを確認します。



2 回タップ



整理券を発行します
発券ボタンをタッチしてください

発券

残り：
@20

CITIZEN SYSTEMS

設定した上限枚数

8. 発券番号の順序をランダムにする

発券番号の順序を 1, 2, 3…のような昇順発券ではなく例えば 70, 15, 38…のようなランダム発券にすることができます。

※ランダム発券の場合は必ず発券枚数の上限の設定が必要となります。

※以下の手順は「発券ボタン#1」を設定する例ですが、「発券ボタン#2」～「発券ボタン#8」に関しても同様の手順で設定できます。

- ① 「整理券設定」をタップし、「番号設定」をタップします。



- ② 「発券ボタン#1」の「詳細設定」を開きます。



- ③ 「ランダム発券を利用する #1」を有効（ピンク）にします。

番号設定

ランダム発券を利用する #1
ランダム発券を利用する

ランダム発券の最小番号 #1
1

発券枚数制限を利用する #1
発券数の上限を設定する

最大発券枚数 #1
100

※「発券枚数制限を利用する #1」も自動的に有効になります。

- ④ 必要に応じて「ランダム発券の最小番号 #1」を変更します。

※1 番からではなく、例えば 101 番より大きい番号をランダムに発券したいような場合に設定を行います。不要であれば次の手順に進んでください。

ランダム発券の最小番号 #1
1

2) OK をタップ

番号設定

ランダム発券の最小番号 #1
101

キャンセル OK

+ 1 2 3 ×
- 4 5 6 /
, 7 8 9 _
. * 0 # ✓

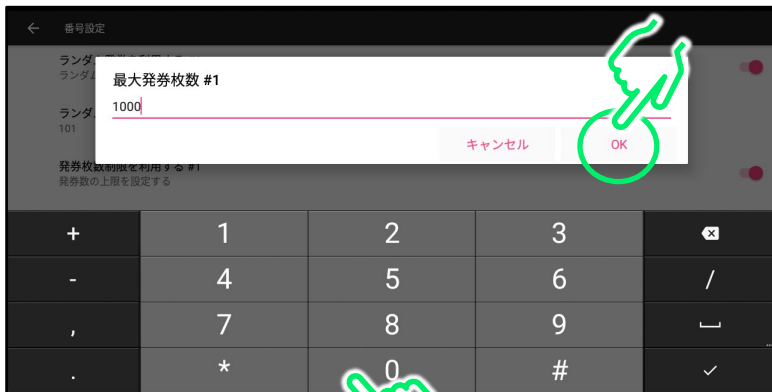
1) 最小番号を入力

- ⑤ 必要に応じて「最大発券枚数#1」を変更します。

※初期状態では、「ランダム発券の最小番号#1」を最小として 100 枚まで発券できる設定となっています。100 枚以上の発券が必要な時などには次の設定が必要です。
不要であれば次の手順に進んでください。

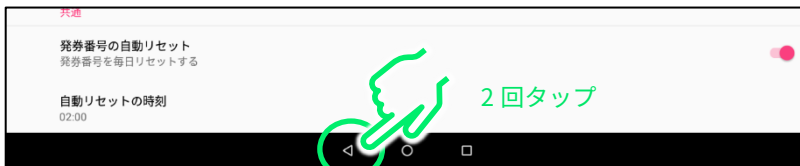


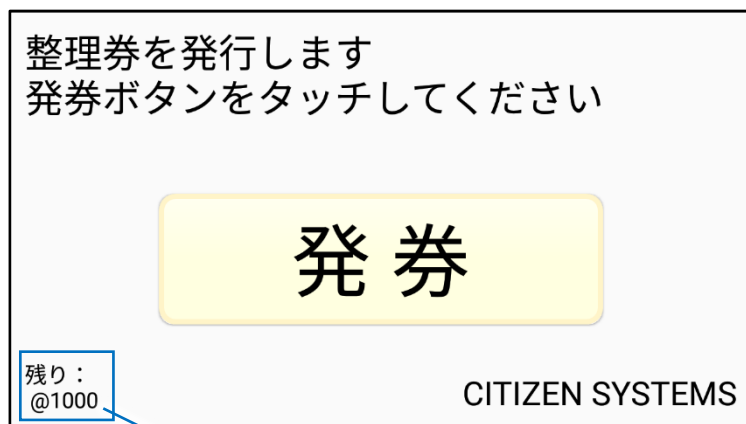
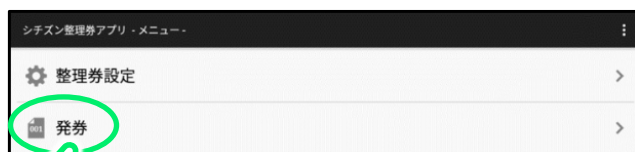
2) OK をタップ



1) 最大発券枚数を入力

- ⑥ バックボタンを 2 回タップしてから「発券」画面を開き、発券数の上限が正しく設定されていることを確認します。





設定した上限枚数

※ 「ランダム発券の最小番号 #1」 + 上限枚数の範囲で番号が発券されます。
たとえば「ランダム発券の最小番号 #1」が 101 で上限枚数が 1000 の場合、
101～1100 の範囲で発券されます。

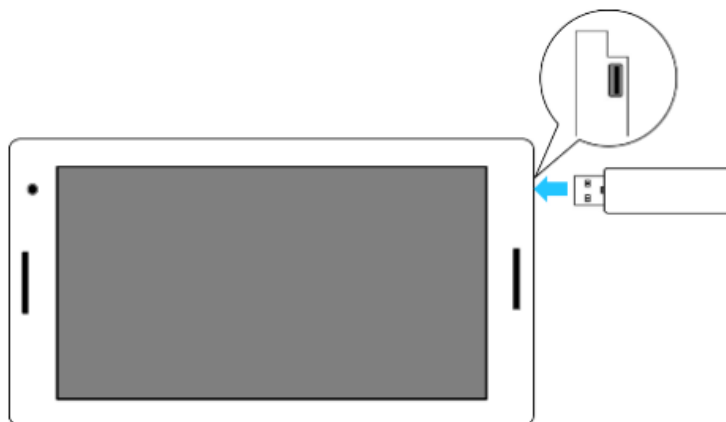
9. 整理券にロゴ画像を付ける

USB メモリに保存された写真や画像をロゴ画像として登録することにより、ロゴ画像付き整理券を印刷できます。

- ① タブレット端末から USB ケーブルを取り外して画像データが記録されている USB メモリを挿入します。

※USB メモリは FAT32 フォーマット、最大容量 64GB までのものが使用できます。

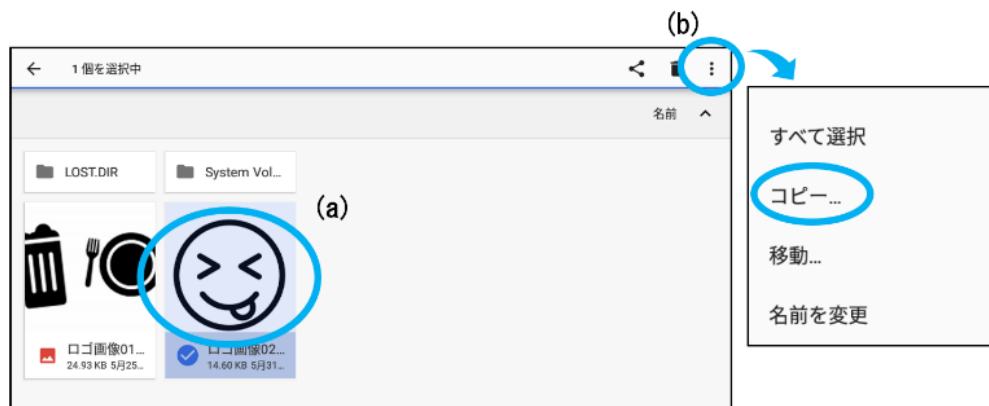
※写真や画像等はおお客様がご準備ください。JPEG、PNG 等のファイル形式が使用可能です。



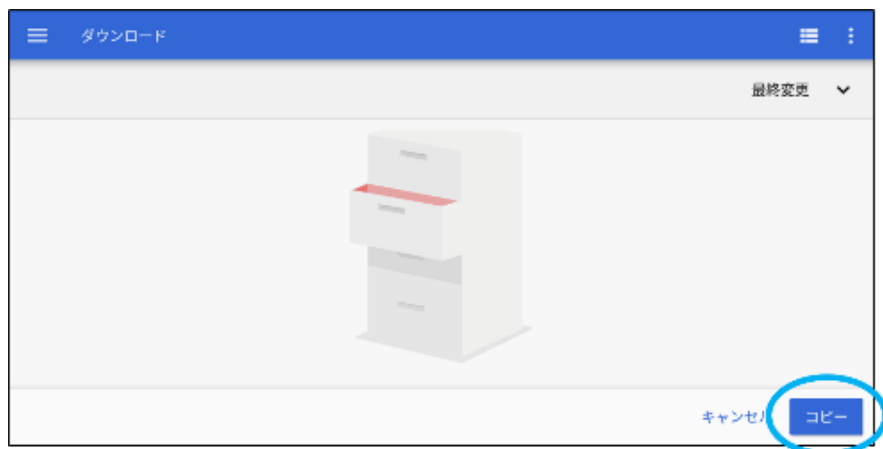
- ② 「設定」 → 「ストレージ」 → 「外部ストレージ」 から挿入した USB メモリを開きます。



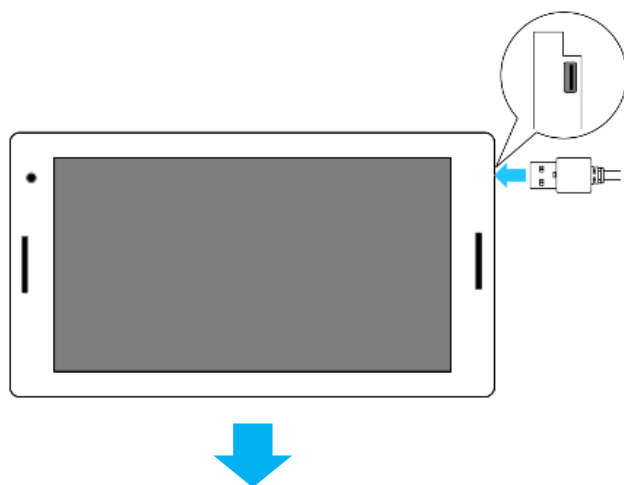
- ③ (a)ロゴ登録する画像を、チェックマークが表示されるまでタップし続けて選択します。次に (b)の位置をタップしメニューを表示して、「コピー」をタップします。



- ④ 「コピー」をタップします。



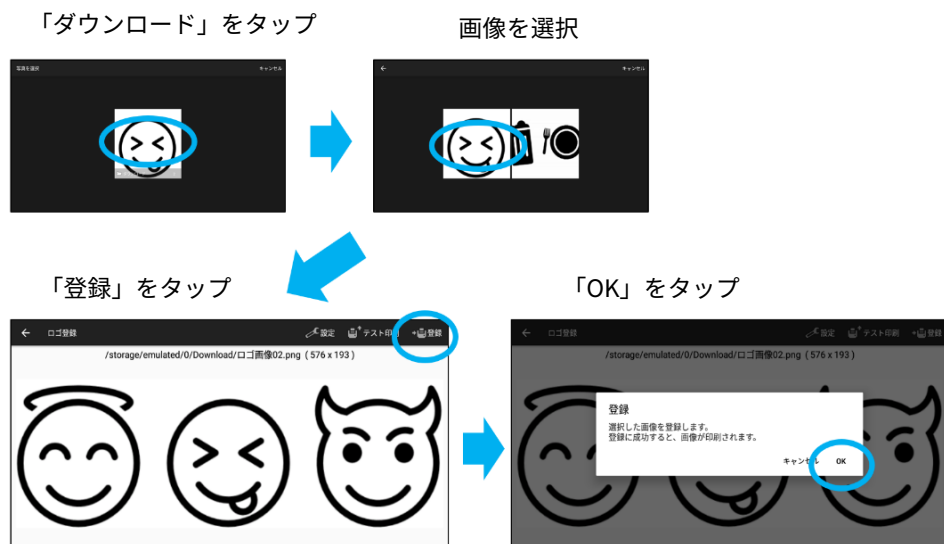
- ⑤ コピーが完了したら、タブレット端末から USB メモリを取り外し、USB ケーブルを挿入します。 → 「シチズン整理券アプリ」が起動します。



- ⑥ 「整理券設定」→「印刷設定」→「登録済みのロゴ画像を印刷」を ON にし、「ロゴ画像を登録」をタップします。



⑦ 「ダウンロード」をタップし、整理券に印刷する画像を選択します。
 画像を選択したら「登録」をタップし、メッセージが起動したら「OK」をタップしてください。



登録が完了しますと、次回以降に発券される整理券に登録した画像が印刷されます。



10. 設定の初期化方法

以下では変更された設定を出荷時の状態に戻す操作について説明します。

「シチズン整理券アプリ」を起動し、「整理券設定」をタップし、画面をスライドして「リセットオプション」表示します。

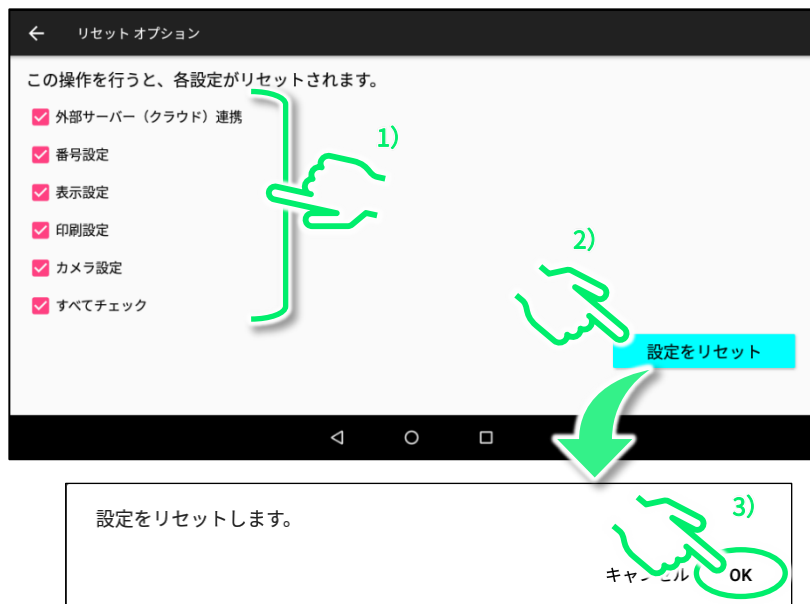


「リセットオプション」をタップします。



初期化が必要な項目をタップしてチェックを付け、「設定をリセット」をタップし、メッセージが表示されましたら「OK」をタップします。

※CQ-S257C/CS/CR(L)などのクラウド対応製品をご使用の場合に「外部サーバー（クラウド）連携」をリセットすると、再度 ID とパスワードの入力が必要となりますのでご注意ください。



メッセージが閉じて「整理券設定」に自動的に戻りましたら初期化完了です。

